



## 「事業の進捗状況」

東北農政局 和賀中央農業水利事業所  
豊沢川農業水利事業建設所長 齋藤 高志

久保田理事長はじめ、豊沢川土地改良区の組合員の皆様には、平素より国営豊沢川農業水利事業の推進に、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

長引く新型コロナウイルスによる感染拡大や、例年に増しての冬の寒さと降雪に見舞われましたが、昨年度は順調に改修工事を進めることができました。おかげさまで、昨年12月には網場設備を更新、2月には新しい管理事務所が完成しました。4月には、取水・放流施設の機械設備の改修が終わり、今年のかんがい期から新しい取水・放流ゲートでの本格運用をしているところです。

令和3年度は、洪水吐施設や小水力発電施設の工事を発注し機器の製作を始めるほか、下流階段工や放流警報施設の一部補修などの工事を行う予定です。

東北電力電力線の容量不足に伴う募集プロセス参加のため滞っていた小水力発電施設も、今年度から下部工の工事に取りかかり、水車・発電機の製作据付工事を4年間の工期で発注の準備を進め10月には契約する予定です。今後は、下部工の工事を令和3年度で行い令和4年度に上屋建築工事、令和5年度に水車・発電機などの据付を行い電力と系統連系できるよう進めて参ります。

最後になりますが、農業農村を巡る情勢では、今年3月に新たな「土地改良長期計画」が閣議決定されました。主な柱は「生産基盤の強化による農業の成長産業化」、「多様な人が住み続けられる農村の振興」、「農業・農村の強靱化」であり、今後5年間はこれを基に施策が決定されていくこととなります。また、5月には「みどりの食料システム戦略」が策定され、エネルギー調達における環境負荷軽減推進のための小水力発電などの導入が盛り込まれました。

これからも、これら施策に基づきながら事業を進めるとともに、安全に留意し、事業効果の早期発現を目指して工事を進めて参りますので皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



地区内の田園風景



放流施設上屋(奥) 工事中の発電下部工(手前)



改修後の取水施設



改修後の放流ゲートからの放水状況



理事長  
久保田 泰輝

ごあいさつ

組合員の皆様には平素より当土地改良区の業務運営全般に亘り格別なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。今年度の用水管理につきましては、臨時的な試験通水期間を経て四月二十六日に本格通水を開始し、管内では代掻き、田植えが順調に進みました。その後、平年と比べて梅雨明けが早く用水供給への影響が心配されましたが、適度な降雨に恵まれたこともあり九月十日までのかんがい期全般を通じて必要な水量を確保し、用水供給ができました。この間、組合員・総代そして水路等管理人の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。一方、豊沢ダム改修に係る国営のかんがい排水事業につきましては、国庫債務負担行為等により本格的に改修工事が実施されているところではありますが、待望の小水力発電施設の工事にも着手されましたことから、今後、国営事業全体の工

事が順調に進み早期の完了を願っているところでもあります。この豊沢ダム改修事業の進捗を見据え、今後最大の課題となる管内の基幹的な水利施設の再編整備につきましては、国・県等のご支援をいただきながら調査検討を進めているところであります。いづれ、農地の整備と農業水利施設の適切な維持管理は土地改良区に課せられた使命であり、中長期的な視点のもと関係行政機関や農業団体等と密接に連携を図りながら進めて参ります。さて、先般開催いたしました令和3年度第一回臨時総代会におきまして、令和2年度の事業報告、財務諸表及び収支決算等の承認をいただきましたこと、誠にありがとうございます。詳細につきましては本広報に掲載いたしておりますが、各事業におきましては概ね計画通り実施したところであります。また、賦課金の収納状況につきましては、徴収強化の対策を継続し、これまで最大時には三千万円超あった未収金は令和2年度末で五百五十三万円余と大幅に減少したところであります。各組合員には厳しい農業経営の中、賦課金の収納は公平公正の原則を守り常に完納していただくようお願いいたします。納付意欲に影響を及ぼすことのないよう引き続き適正に対応して参りたいと存じます。令和という新しい時代、農業そして農村環境は急激な変化を続けており、管内もまたこうした時代の流れの中で大きな転換期を迎えております。地域をいかに維持し次の世代に継承していくか、との



視点のもと、土地改良区としてその課題解決のため、地域の特性に合わせたきめ細かな基盤整備等を計画的に推し進め、併せて地域住民と一体となって適切な維持管理に努めるとともに環境保全活動等を継続していくことが重要と考えております。この地域の尊い財産を大切に、新たな農業の振興とともに地域の振興に向けて、土地改良区としての役割を果たすべく役員一丸となって一層の努力をさせていただきます。末筆になりましたが、未だ新たな感染症・新型コロナウイルスによる感染拡大が続いており、依然として農業のみならず社会経済全体への影響が大きなものとなっており、これからの晩秋そして冬にかけて、組合員の皆様におかれましてはくれぐれもご自愛くださいとにも、今後、自然災害もなく出来秋と穏やかな年の瀬を迎えられますことをご祈念申し上げます。